



～ 誰でも夢を叶える秘密の方法 ～

石垣市教育委員会 学校教育課長 前三盛 敦

「見る目がある」、「目が肥えている」、「お目が高い」等の慣用句は、人の能力を目のよさに関連させて表現しています。同様に学力向上においても良い目を保つことは、大切なポイントだと考えます。お子様が、学校で授業を受ける時、読書やスポーツをする時、目が悪ければそれを十分に楽しんだり持てる力を発揮したりすることはできません。

本市では、令和4年度より OWNDAYS 株式会社（代表取締役社長：田中修治）様より、本市の児童を対象にメガネの無償提供をしていただけるようになりました。しかも有り難いことに小学校を卒業するまでの6カ年間です。保護者の皆様におかれましては、この機会にぜひお子様の視力に合わせた眼鏡をご用意して頂きますことをせつにお願い申し上げます。

オンデーズ社は、子どもたちに眼鏡を提供することで豊かな学習環境を整え、学習の遅れからくる将来の貧困を防止することを目的に本事業を展開しています。つまり、本市『勇気づけの教育』の基本理念である「子どもたちの将来は生まれ育った環境に左右されることなく、一人の人間として尊重され、安心して学び、自分のよさや可能性を広げる学校づくりをめざす」と合致するものがあります。オンデーズ社の温かな取り組みに敬意を表すると共に心より感謝申し上げます。

ところで読者の皆様、YouTube にオンデーズ社の公式チャンネルがあることをご存じですか。先日私も拝聴して、オンデーズ社社長田中修治氏の「誰でも夢を叶える秘密の方法」にとっても共感しましたので、ご紹介させていただきます。

田中氏は、1977年埼玉県生まれ。公団住宅団地が広がる環境で育ち、小学校ではサッカー、中学校ではボクシングに打ち込んだごく普通の子どもだったそうです。17歳からバンドを始め、高校卒業後もフリーターをしながら音楽のプロを目指し、当時は茶髪でホスト風なチャラチャラした自称埼玉の“マイルドヤンキー”だったそうです。ところが25歳の時、「俺は社長になる」と一大決心をして、ホームページの会社を立ち上げ、そこから少しずつ成功を収め、負債14億円で潰れかかったメガネ会社を買収し発展させていったのが今の OWNDAYS 株式会社（世界420店舗、年商300億円）だそうです。

その田中氏が熱く語る特別な夢を叶える方法。それは『知ってる』『できる』『やっている』の3つの言葉で表されます。例えば、人は誰でも「運動しなきゃ痩せない！」と知っているのに、実際は、階段を上らずにエスカレーターに頼っている。つまり、『知識では知っていて、歩くこともできるけど、やっていない。』ということ。要は、『できることをやっていれば、夢は叶う。やらないから夢は叶わないんだ』ということになります。

田中氏は『成功するための方法なんて、小学校の時に全部教わっていることなんだよ』と言います。「宿題やったか～」「復習したか～、予習したか～」「朝早く起きろよ～」「外で遊べ」「元気よく挨拶しろよ」「夜は早く寝ろよ」「人の悪口言うなよ」「お菓子ばっか食べるなよ、野菜もちゃんと食べよ！」等です。どこかで聞いたことあるセリフですね。

田中氏は、以下のことを確実に実行しているそうです。「会社で元気よくあいさつする」「家に帰った

ら仕事の復習をして明日の予習をする」「明日早いからちゃんと寝る」「朝は早く起きて会社では一生懸命仕事をする」等、今自分が『知ってて』『できる』当たり前努力をしているということです。

『知ってて』『できること』をやり続けていくと、できることがさらに広がっていく。だから『やり続けていくこと』が成功の秘訣だとおっしゃっていました。

「凡事徹底」。田中氏はまさにそのことを実践しているお一人だと感じました。あたり前のことを実践することが難しいとも言われますが、田中氏の実践は私たちに勇気を与えてくれます。

皆さんもぜひ、「知ってる」「できる」「やっている」の3つの言葉を実践し、夢を叶えていきませんか。 引用=<https://youtu.be/Eed904qG3w>